

平成3年10月3日

学生たちの街で 学生たちの音楽の祭典

第10回豊島キャンパス音楽祭

立教大学応援団吹奏楽部によるパレードで華々しく開幕

3日、恒例になった豊島キャンパス音楽祭が始まった。6日(日)までの4日間、立教大学・学習院大学・大正大学・東京音楽大学の区内4大学学生や区立小中学校など合計40を超えるプラスバンドや音楽同好会をはじめ、豊島区が誇る区管弦楽団、吹奏楽団、さらには、区立小学校PTAによるコーラスなどが参加し、池袋西口の東京芸術劇場小ホール(西池袋1-8)、サンシャインシティ地下1階の噴水広場(東池袋3-1)、駒込駅そばの駒込サウンドファクトリー(駒込3-3)の3会場で開催される。4日午後6時から芸術劇場小ホールで開かれる東京室内管弦楽団コンサート(1000円)以外は、全て入場無料。

10周年を迎えた今年は、3日午後0時過ぎ、西池袋3丁目の立教大学正門から東京芸術劇場に向けて、池袋のシンボルの一つである立教大学応援団の団旗を先頭に、約100名の部員らによる記念パレードが賑やかに行進。池袋は、お祭りムードに包まれた。(※写真)

キャンパス音楽祭は、昭和57(1982)年、区制施行50周年記念事業の一つとして、豊島区が呼びかけ、立教大学、地元商店街、有力企業などの協力で開催されたのが始まり。キャンパスという冠がついているように、区内の大学・学校の学生・生徒が主役。

オーケストラ・ジャズ・フォーク・ニューミュージック・ラテンなどバラエティに富んだ音楽祭である。豊島キャンパス音楽祭実行委員会主催、豊島区及び豊島区教育委員会後援。

問合せ 東京芸術劇場内 キャンパス音楽祭実行委員会仮設事務局